

# 県庁舎の屋上緑化について

県庁舎の屋上は、長崎県内の海岸部に生育する植物の種子を採集して育てた苗（地域性種苗）を用いて植栽しました。

できる限り、自然の植生に近い形で植栽することで、長崎県の地域環境に適した植栽とし、海と呼応する大らかで自然に近い緑地景観としました。



行政棟2階テラス全景

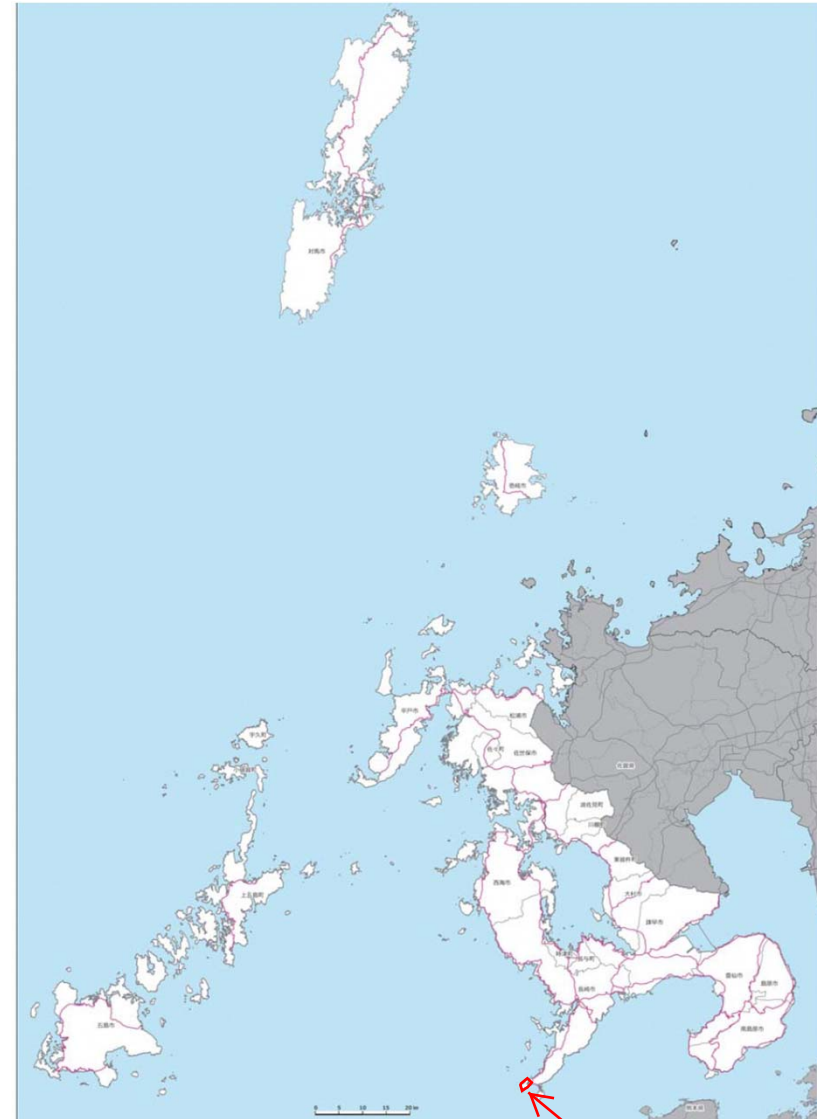
1. 海岸部の植生調査と採集
2. 海岸植物の生育場所
3. 植生名板



# 1. 海岸部の植生調査と採集

## ■長崎県の海岸部の植生調査と採集

県庁舎行政棟の屋上植栽は、西海型気候区に含まれる長崎県の海岸で、植生状況の調査とサンプリングを行い、長崎市野母崎周辺の海岸沿いで種苗の採取を行いました。



野母崎

## 2. 海岸植物の生育場所

海岸部の植物は、砂礫（されき）浜に生育するもの、岩場や崖地に生育するもの、海岸林に生育するものなどに分類されます。

砂礫浜に生育するもの  
ハマヒルガオ、ハマゴウなど

岩場・崖地に生育するもの  
ハマボッサ、ハマナデシコ、ホソバワダン、ボタンボウフウなど

海岸林に生育するもの  
トベラ、シャリンバイなど





## 3. 植生名板

### ■ 植生名板

植物ごとに植生名板を設置しました。

スマートフォンなどで名板の右下の2次元バーコードを読み取ると、WEB図鑑で写真などを見ることができます。

